

最後の火のあらし

創世記 19 : 1-29

アブラハムの甥であるロトとその家族がソドムへ移ることを選んだ時、アブラハムはロトが大きな誤りを犯していることを知りました。ヨルダン溪谷の低地の町々は美しく繁栄していましたが、非常に墮落していました。「ソドムの人々はわるく、主に対して、はなはだしい罪びとであった。」（創世記13：13）。神は、ついに憎むべきことを行うこれらの罪深い町々を滅ぼそうと決心なさいましたが、その前にロトとその家族を救い出すために、ソドムにふたりのみ使いを送られました。

ソドムへ入った時、ふたりのみ使いは旅人に扮していました。ロトはふたりの見知らぬ人たちが門に入ってくるのを見、その悪い町の通りは、夜は安全ではないことを知っていたので、自分の家に避難するようにしめて勧めました。しかし悪人たちはそれを見ていました。そしてその夜、彼らはロトの戸の周りに集まり、ふたりに乱暴をはたらくために彼の客を外に出すよう強く要求しました。ロトは、戸の外で邪悪な暴徒を説得しようと無駄な努力をしました。暴徒の凶暴な執念は、激しくなる一方でした。やがて群衆はロトをも脅し始めました。この時点で、み使いたちはもはや自分たちの正体を隠し続けることはできなくなりました。彼らはロトを安全な家の内に引き入れ、家の入口にいる激怒した暴徒たちを打って目をくらましました。

次の早朝にみ使いたちはロトとその家族に次のように言いました。「のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。…山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます」（創世記19：17）。「主は硫黄と火とを主の所すなわち天からソドムとゴモラの上に降らせました（創世記19：24）。ただロトと彼の二人の未婚の娘たちだけが助かりました。彼の妻は、ソドムをあこがれの思いでふりかえって見ました。そして塩の柱になってしまいました。神のみ言葉は最後の時代にも世界はソドムのような状態になると述べています。その刑罰も同様となるでしょう。

聖書研究

各聖句を読んで空白を埋めてください。

1. 悪人の滅びの実例となる二つの町は何という町ですか？

2 ペテロ 2:6 また、_____と_____の町々を灰に帰せしめて破滅に処し、不信仰に走ろうとする人々の見せしめとし

注記： 神はこれらの二つの町を「永遠の火」（ユダ1：7）で滅ぼされました。この火は地獄で悪人を滅ぼすのと同じ火です。

2. いつ、地獄の火で悪人が滅ぼされますか？

2 ペテロ 2:9, 10（欽定訳） こういうわけで、主は、…不義な者ども、…を罰するために、_____の日まで留め置くべきことを、よくご存じなのである。

ヨハネ 12:48 わたしの語ったその言葉が、_____にその人をさばくであろう。

マタイ 13:40-42 毒麦が集められて火で焼かれるように、_____にもそのとおりになるであろう。人の子はその使たちをつかわし、…不法を行う者とを、…とり集めて、炉の火に投げ入れさせるであろう。

注記： 上記の聖句で聖書は、悪人たちは、死んだ時ではなく、世の終わりにおけるさばきの日に、火に投げ入れられることを明確に示しています。これは、現在誰も地獄にはいないことを明らかに意味しています。さばきの判決も下っていないのに人が刑罰を受けることは公平とは言えません。人々が報いを受けたり、または刑罰を受けるのは、キリスト再臨の時であって、それより前ではありません（黙示録22：12）。

3. もし死んだ悪人がまだ地獄にいないのなら、どこにいますか？

ヨハネ 5:28, 29 _____にいる者たちがみな神の子の声を聞き、…悪をおこなった人々は、さばきを受ける

ためによみがえって、それぞれ出てくる時が来るであろう。

ヨブ 21:30, 32 (欽定訳) 悪人は滅びの日まで留め置かれる。…彼は墓へ連れて行かれ、墓に残る。 [欽定訳] Job 21:30 That the wicked is reserved to the day of destruction? …Yet shall he be brought to the grave, and shall remain in the tomb

注記: 聖書は、死んだ悪人が世の終わりの復活の時まで墓に留め置かれていることを教えています。彼らはイエス様の声が彼らと呼ばれるのを聞き、地獄からではなく、墓から出てきます。

4. 罪の報い、または刑罰は何でしょうか？

ローマ 6:23 罪の支払う報酬は_____である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。

注記: 罪の刑罰は、地獄の火の中での永遠のいのちではなく、その全く反対である死です。生きて再臨を迎える者を除いて、私たちは皆第一の死を経験します (ヘブル 9:27)。しかし聖書は悪人が地獄で死ぬ経験は第二の死であると述べています (黙示録 21:8)。第一の死からすべての者は刑罰あるいは報いを受けるために復活させられますが、第二の死からの復活はありません。第二の死は最終的なものです。さらに、もし罪の刑罰が地獄の火による永遠の責め苦であるならば、イエス様は罪に対する報酬を支払っていないことになります。

5. 全人類に与えられている二つしかない選択は何でしょうか？

ヨハネ 3:16 それは御子を信じる者がひとりも_____ないで、_____を得るためである。

注記: 地獄の辺土や煉獄 (れんごく) の概念は聖書の中にはありません。聖書が教える二つだけの選択は、永遠のいのちか、あるいは永遠の死だけです (申命記 30:15)。

6. 悪人は地獄の火の中でどうなるのでしょうか？

詩編 37:10, 20 悪しき者はただしばらくで、うせ去る。…しかし、悪しき者は_____、…煙のように_____うせる。

マラキ 4:1, 3 見よ、炉のように燃える日が来る。その時…悪を行う者とは、わらのようになる。その来る日は、彼らを_____て、根も枝も残さない。4:3 また、あなたがたは悪人を踏みつけ、わたしが事を行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる。

注記: 地獄の悪人は煙のように立ち上ります。ただ灰だけが残ります。

7. 地獄の火はどんな場所にありますか？

黙示録 20:9 彼らは_____の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営…を包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。

2 ペテロ 3:10 その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、_____とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。

注記: 地獄の火はこの地上に存在することになるでしょう。火が下るのは地上なのです。

8. 悪魔は地獄の火を司るのでしょうか？

黙示録 20:10 そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に_____。

注記: いいえ。司るどころか、火に投げ込まれるのです。その日はついには悪魔を「地の上の灰」にしてしまいます。そして神はサタンに「あなたは…永遠にうせはてる」と述べられます (エゼキエル 28:18, 19)。

9. 地獄の火は消えるのでしょうか？

イザヤ 47:14 (欽定訳) 身を暖める炭はなくなり、またその前にすわるべき火もなくなる。 [欽定訳] Isa 47:14 …there shall not be a coal to warm at, nor fire to sit before it.

注記: 罪、罪人、そして地上のあらゆるものが滅ぼされた後、火は消えます。火はいつまでも燃え続けません。苦しい永遠の地獄が罪を取り除くことを不可能にしてしまいます。罪を滅ぼすことが神の計画です。黙示録21:5にこう書かれています。「見よ、わたしはすべてのものを新たにする」。

10. からだも魂も両方とも地獄で滅ぼされますか？

マタイ 10:28 また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、_____も_____も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

注記: 多くの人々は魂は決して死なないと信じていますが、神様は二度も次のように述べられました。「罪を犯す魂は死ぬ」(エゼキエル18:4, 20)。聖書によると、悪人は地獄の火でからだも魂も両方とも滅ぼされます。

11. 誰に対して 地獄の火がつけられるのでしょうか？

マタイ 25:41 のろわれた者どもよ、わたしを離れて、_____とその使たちとのために用意されている永遠の火にはいつてしまえ

注記: この火の目的はサタン、悪天使たち、そして罪を滅ぼすことです。人が罪の疫病を切り離すことを拒むなら、罪と共に滅ぼされなければなりません。なぜならもし罪が滅ぼされないならば、罪は再び宇宙を汚染するからです。

12. 神が悪人を滅ぼすことについて聖書はどのように言及していますか？

イザヤ 28:21 主は…憤られて、その行いをなされる。その行いは類のないものである。またそのわざをなされる。そのわざは_____である。

注記: 神にとって、ご自分が愛される者たちを滅ぼすということは耐え難いものです。「主は…ひとりも滅びることがなく、すべての者が悔改めに至ることを望」んでおられます(2ペテロ3:9)。神は常に彼らに次のように語られます。「心を翻してその悪しき道を離れよ。…あなたはどのようにして死んでよかろうか」(エゼキエル33:11)。人間を滅ぼすことは、神の方法とは異質のことで、地獄の火は「異なったわざ」と呼ばれるほどです。神は人類をお救いになるという望みのために為すべきことは全て為さいます。悪人は滅ぼされる前に神は公平なお方であることを認めるようになります(ローマ14:11)。

13. 「消えない火」という聖句はその火が決して消えないことを示しているのではないのでしょうか？

マタイ 3:12 また、箕(み)を手を持って、打ち場の麦をふるい分け、麦は倉に納め、からは消えない火で_____であろう」

注記: いいえ。消えない火は、消すことができません。しかしその火がすべてを焼き尽くすと、消えます。例えば、エレミヤ17:27は、もし神の民が忠実でなければ、神はエルサレムに「消えることのない」火を燃やすと警告しています。そして聖書はこの預言がすでに成就したことを言明しています。「神の宮を焼き、エルサレムの城壁をくずし、そのうちの宮殿をことごとく火で焼き、…これはエレミヤの口によって伝えられた主の言葉の成就するためであった。」(歴下36:19, 21)。その火はすべてを焼き尽くすまでは消えることができません。聖書がその火を「消えることのない」火と呼んでいるにもかかわらず、今日は燃えていません。

14. 「永遠の火」という聖句は「終わりのない」という意味ではありませんか？

ユダ 7 ソドム、ゴモラも、…_____の刑罰を受け、人々の見せしめにされている。

注記: 聖句は聖句で説明しなければなりません。この聖句から地獄の実例として、ソドムとゴモラは永遠の火をもって滅ぼされたことが分かります。しかし、現在これらの町は燃えておりません。これらの町は灰となりました(2ペテロ2:6)。これは永遠の火の為すわざです。その結果において永遠なのです。(「金持ちとラザロ」と題された補足を参照してください。)

15. 黙示録 20 : 10 が悪人は「世々限りなく」(for ever and ever) 苦しめられると述べていますが、これは終わりのない時ことを示していませんか？

ヨナ 2:6 地の貫(ぬき)の木は_____わたしの上にあった。 [欽定訳] Jon 2:6 …the earth with her bars was about me *for ever*:

注記: いいえ。ヨナは大きな魚の腹の中に三日三晩いました(ヨナ1:17)。しかし彼は「永遠に」(for ever)と言いました。魚の腹の中で永遠のように感じたことでしょう。黙示録20:10にある“for ever”というギリシャ語は“aion”(イオン)です。この言葉は、有限あるいは無限の、不特定の時の期間を意味しています。“for ever”という言葉は聖書で56回使われていて、すでに終わったことに言及しています。一つの箇所では、忠実な奴隷の一生を説明していることがあります(出21:6)。別の箇所では“for ever”は10世代を意味しています(申命記23:3)。また“for ever”は人の「一生のあいだ」を意味することもあります(サムエル上1:22, 28)。

16. 罪と罪人が滅ぼされた後、イエス様はご自分の民のために何をなさいますか？

2 ペテロ 3:13 しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と_____とを待ち望んでいる。

黙示録 21:4人の目から涙を全くぬぐいにとって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、_____もない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである」。

注記: 清められたこの世界の灰の上に、神は新しい天と新しい地とを創造されます。神は喜び、平和、説明できないほどの幸福を、すべての生ける被造物に永遠にわたって約束されています。

17. 罪の問題は再び起こるでしょうか？

ナホム 1:9 (欽定訳) 苦悩は二度と起こらない。 [欽定訳] Nah 1:9 affliction shall not rise up the second time

注記: いいえ。約束は明白に示されています。罪は再び起こることはありません。

イザヤ 65:17 見よ、わたしは新しい天と、新しい地とを創造する。さきの事はおぼえられることなく、心に思い起すことはない。

18. ヨブはどのような鋭い質問を投げかけていますか？

ヨブ 4:17 (欽定訳) 人は神以上に正しくありえようか。 [欽定訳] Shall mortal man be more just than God?

注記: もしあなたの息子が冷淡な殺人者になったら、あなたは彼が刑罰を受けるべきであると感じますか？そう感じるでしょう。しかしあなたは彼が生きたまま火の中で燃えて、激しい苦痛を一日でも経験してほしいと感じるでしょうか？もちろんそう感じないと思います。そんなことは耐えられないでしょう。同様に愛情深い主も、ご自分の子供たちが激しい拷問を受けることを見るに耐えないでしょう。それはあらゆる戦争の残虐よりもひどいものでしょう。神はそのようなお方でしょうか？いいえ。決してそのようなことはありません。苦しみの永遠の地獄は神にとって耐えられないものであり、愛と正義のご品性とは正反対のものです。

補足

更に詳しく研究するための追加的な資料

金持ちとラザロ

多くの人が、人は死ぬとすぐ天国あるいは地獄へ行くということを証明しようとして、金持ちとラザロのたとえ話を用いてきました。イエス様はこのようなつもりでこの物語をお語りになったのではありませんでした。イエス様が「地獄」にお用いになった言葉は「ハデス」です。これはギリシャ神話における苦悩の場所でした。イエス様はよく知られていた神話を用いてあるポイントを説明されたので、このたとえ話を聞いていたすべてのユダヤ人は理解することができました。ルカ16:19-31を注意深く見てみると、このたとえ話はわたしたちが字義通りにとらえるようにと

イエス様が意図していなかった象徴で満たされていることがすぐに分かるでしょう。

- ・ 例えば、救われたものは皆、アブラハムのふところにいくだろうか？いいえ。
- ・ 天国と地獄にいる人々が互いに交信できるだろうか？いいえ。
- ・ 地獄で燃えている人の舌を水で冷やすことができるだろうか？いいえ。
- ・ アブラハムは、誰が救われ、誰が失われるかを定めることができるだろうか？いいえ。

同様に、世の終わりにおける最後のさばきの日の前に死んだ人がすぐに天国に行ったりあるいは地獄に行ったりすると教えるために、このたとえ話を用いることはできません。ヨハネ12:48は次のように述べています。「わたしの語ったその言葉が、終りの日にその人をさばくであろう」。

ではこのたとえ話は何を教えているのでしょうか？金持ちは、聖書というごちそうを大いに与えられていたユダヤ国民を例証しています。一方門にいた乞食は異邦人を例証しており、彼はみ言葉に飢えていました。イエスは「もし彼らがモーセと預言者にとりて耳を傾けないなら、死人の中からよみがえってくる者があっても、彼らはその勧めを聞き入れはしないであろう」（ルカ 16:31）という言葉でたとえ話を締めくくっています。実際、イエス様は後にラザロという男を死から蘇らせました。しかしユダヤの指導者のほとんどがそれでも信じませんでした（ヨハネ 12:9-11）。